

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市春日町老人ホーム新築	階数	地上2F
建設地	大阪府高槻市春日町	構造	木造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年4月8日
敷地面積	2,321㎡	作成者	伊藤真理子
建築面積	1,351㎡	確認日	2023年4月11日
延床面積	2,612㎡	確認者	岡田 厚志



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の高さを低く抑えて、周辺の住宅環境への影響を最小限となる様建物を計画した	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
遮音及び断熱の為に材料を選択し、室内環境への負荷が小さくなる様配慮した	段差の無い計画となる様設計した。また、取り替えが容易にできる機器・方式を採用し維持管理が容易になる様配慮した。	敷地内に緑地帯を設置し、景観の配慮と敷地内熱環境の工場を考慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
窓・外壁・屋根裏には、断熱性を考慮した部材を選択した。	構造が木造である事から、国内の森林からの木材を積極的に取り入れている。	騒音の元となる様な機器は、敷地内部に設置し、外部環境への配慮をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0002

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	高槻市春日町老人ホーム					
	建設地	高槻市春日町693-1、693-9、694-10、694-11、695-14					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					C	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		